

令和3年度事業計画について

[事業実施方針]

1 現状と課題

昨年3月、ひょうご観光本部は観光地域づくり法人(DMO)として、新たなスタートを切った。折しも、この時期に、世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症が、兵庫の観光産業にも甚大な影響を与え、入国制限措置が取られたことで、訪日外国人旅行者はほぼゼロとなった。

このような中、ひょうごツーリズム戦略初年度となった令和2年度は、コロナ禍の影響により深刻なダメージを受けた観光産業を支援するための緊急対策を実施した。一方で、当初計画していた海外向けプロモーションや海外からのファムトリップ受入などの事業縮小を余儀なくされたものの、DMOとしての事業推進体制の強化を図り、戦略に定める4つの重点施策「Ⅰ 観光地の魅力向上」、「Ⅱ 受入環境の整備促進」、「Ⅲ 観光産業の振興」、「Ⅳ プロモーションの強化」にも積極的に取り組んだ。今後、この危機的局面を乗り越え、兵庫の観光を持続的に発展させていくためには、戦略のめざす姿の実現に向け、着実に各種取組を推進するとともに、ポスト・コロナを見据えた新たな観光モデルの創出を図っていく必要がある。

2 ウィズ・コロナ期の取組

令和3年度は、リスクコントロールされた旅行ニーズへの対応など、安心安全対策と両立した観光需要の喚起を行うことで、新常态(ニューノーマル)に対応した観光地域づくりを推進する。また、人の動きが一定制約される状況下においては、旅行消費額を維持・拡大する観点から、「量」を追う誘客から「質」の高い誘客への転換を図る必要がある。高付加価値の着地コンテンツ開発や旅行商品の造成と流通販売機能の整備などに取り組むとともに、インバウンド需要が大きく減少する中、国内観光の新たな可能性を検討し、2025年の大阪・関西万博を見据えた新たな観光モデルの創出を目指す。

3 ポスト・コロナを見据えた取組

本格回復までに一定の期間が見込まれるインバウンド誘客については、ターゲットを再検証するとともに、今後の国際ビッグイベントを契機とした、段階的な訪日外国人旅行者の回復を想定した準備を進める。コロナ収束後の旅行先として依然人気の高い日本にあって、兵庫県が旅行再開時の選択肢となるよう、継続的な情報発信や魅力的なツアー造成など受入基盤の整備を着実に推進する。

兵庫の観光を取り巻く環境は、当面厳しい状況が続くと予想されるが、このコロナ禍による苦境を新たな観光モデルの創出のための機会ととらえ、多様なステークホルダーとの連携を強化しながら、事業体制の構築と成長のための取組を着実に進めていく。

I 観光地の魅力向上

1 観光地魅力コンテンツの創出・発信

旅行消費額を維持・拡大する観点から、「量」を迫る誘客から「質」の高い誘客への転換を目指し、付加価値の高い着地型コンテンツや旅行商品の造成などに取り組み、滞在型観光圏の形成を図る。

(1) 兵庫を彩る魅力あるコンテンツの開発

① [新] 兵庫の魅力再発見コンテンツの造成・販売 (21,144千円)

ウィズ・コロナ期において、まずは県内及び近隣府県からの観光客を誘客することを目的に、「Re-DISCOVER HYOGO」をブランドとして、県内各地の観光資源を活かした体験型コンテンツを造成するとともに、コンテンツをOTA等で販売する。

- ・現地調査、造成検討会、ワークショップ、専門人材による現地指導、モニターツアーの実施
- ・OTAサイトとの提携、コンテンツの掲載
- ・予約・催行件数に応じたコンテンツのさらなる磨き上げ

② [拡] 訪日外国人旅行者向け体験型・周遊滞在型コンテンツの開発販売促進 (10,700千円)

ア 昨年度造成した体験型・周遊滞在型コンテンツについて、ストーリーに基づく周遊ルート化を図り、旅行商品としてOTA等を通じた販売の仕組みを構築する。

- ・旅行会社を対象としたファミトリップの実施
- ・OTAサイトとの提携、コンテンツの掲載
- ・予約・催行件数に応じたコンテンツのさらなる磨き上げ

イ コンテンツへのアクセス手段及びアクティビティ型コンテンツとして、e-BIKE (スポーツタイプの電動アシスト自転車) を活用したサイクルツーリズムを推進する。

- ・サイクルツーリズムにかかる講習会の開催
- ・ガイドの発掘・育成

③ [新] 誘客・周遊の中核となる観光地独自の魅力づくりの支援 (20,000千円)

県内の観光協会・DMO等が取り組む、地域固有の街並み・食材・歴史文化等を活かした通年の中核コンテンツや季節の風物詩を創出する魅力づくりなどを支援する。

- ・対象者 観光協会、DMO等
- ・補助上限額 2,000 千円
- ・補助率 1/2

④ ひょうごロケ支援Netの推進 (1,081千円)

映画・テレビ等のロケ地をツーリズム資源とした観光PRを推進するため、フィルムコミッションや市町等と連携してロケを誘致・支援する。

- ・ホームページによるロケ地情報発信、エキストラ登録
- ・ロケ適地の相談、地元関係者との調整等のロケハン・ロケ支援
- ・ロケ誘致活動普及啓発セミナーの開催

(2) コロナの影響を受けた観光産業の再生と活性化に向けた支援

① スキー場周辺地域宿泊割引〈令和2年度繰越事業〉(37,000千円)

新型コロナウイルス感染症の影響により但馬・播磨地域のスキー場において観光客の入込みが大幅に減少していることから、宿泊割引の支援を行い県内スキー場への誘客促進を図る。

- ・対象者 但馬・播磨地域のスキー場が所在する観光協会
- ・割引単価 一泊2,000円(定額)

② 観光拠点整備支援〈令和2年度繰越事業〉(県52,704千円、市町26,352千円)

観光客の利便性向上や地域の魅力向上など、地域観光の賑わいづくりに資する事業を対象に施設の改修費等を助成する。

- ・対象者 施設等のオーナーや企業、団体及び個人等
- ・補助上限額 一般改修：24,750千円/件、耐震改修：5,625千円/件
- ・補助率 補助対象経費の3/4以内(県1/2、市町1/4)

【参考】県実施事業

① [拡] 宿泊割引支援事業の実施(200,000千円)

Go To トラベル終了後の観光関連産業の回復を継続的に下支えするため、県内宿泊施設での宿泊割引を実施する。

- ・実施時期 Go To トラベル終了後から3か月間
- ・対象者 県内の対象宿泊施設の利用者
- ・規模 100,000人
- ・割引単価 一泊2,000円(定額)

② [拡] 「兵庫五国の名湯に泊まろうキャンペーン」の実施(483,000千円)

Go To トラベル終了後の県内観光需要の早期回復に向けて、事業者を切れ目なく支援するため、「兵庫五国の名湯に泊まろうキャンペーン」の第3弾を実施する。

- ・実施時期 Go To トラベル終了後から3か月間
- ・実施内容 10,000円以上の宿泊で2,000円の購入券、
5,000円以上10,000円未満の宿泊で1,000円の購入券を進呈
- ・対象者 県内温泉地の宿泊者

③ [新] ふるさと文化の観光資源活用応援プロジェクト

ふるさとひょうご寄附金事業(ふるさと納税制度)を活用し、地域の特性を活かした魅力ある観光地づくりを進めるため、伝統芸能・文化等を活かした地域主体の観光地振興の取組を支援する。

- ・対象事業 観光協会、保存会、自治会等の団体が地域固有の伝統芸能・文化等を観光資源として活用する事業
- ・対象者 伝統芸能・文化等を活かした観光地域振興に取り組む団体
- ・補助上限額 1,000千円
- ・ふるさと納税返礼品 県内宿泊施設で利用できる1万円割引クーポン等
(県外在住で5万円以上寄附した個人が対象)

(3) 交流とにぎわいの空間づくり

① 淡路花博20周年記念花みどりフェアへの参画

淡路花博20周年記念事業実行委員会に参画し、淡路島内の食や自然、歴史・文化の魅力を活かした各種イベントと連携した旅行商品の造成促進、誘客プロモーションに取り組む。

[開催時期] ①2021. 3. 20～5. 30 ②2021. 9. 18～10. 31

② 「ワールドマスタースゲームズ2021関西」に向けた情報発信

ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会等と連携し、訪日客向けの着地型観光コンテンツの提供、情報発信を行う。

[開催時期] 2022. 5. 13～5. 29

II 受入環境の整備促進

1 観光客受入基盤の整備

インバウンドの回復を見据えながら、観光地を支える快適な環境整備や観光産業を支える人材の育成・確保、観光客に安全安心を届ける受入基盤の着実な整備を推進する。

(1) 【拡】観光地の受入環境整備に対する支援（12,500千円）

体験コンテンツの開発に際し、観光協会・民間事業者等が行うWi-Fi環境、多言語化等の受入環境整備に対して助成する。

- ・補助対象 Wi-Fi環境、キャッシュレス化、多言語化(WEB、パンフレット、看板等)、翻訳通訳機等
- ・補助上限額 重点テーマ：1,000千円、一般テーマ：500千円
- ・補助率 重点テーマ：2/3、一般テーマ：1/2

【重点テーマ】

区分	概要
9つの日本遺産	日本遺産ストーリーの現地で今・昔を巡る「歴史体験」滞在
御食国ひょうご	食材を核に産地の風土を味わい生産者と交流する「食文化」滞在
芸術・文化体験	芸術文化の「鑑賞・体験」滞在
六甲山の観光活用	都市山・六甲山の「アクティビティ」滞在
瀬戸内クルーズ	瀬戸内海の豊かな自然と食・文化体験を楽しむ「クルーズ」滞在
ワーケーション	首都圏・大阪等の個人事業主・企業社員の「モバイルワーク」滞在

(2) 観光地・観光産業を支える人材の確保・育成

① 【拡】着地型観光ガイドの強化・育成（7,500千円）

ア 訪日外国人旅行者等の地方の観光資源や文化に触れたいというニーズに対応できるガイドを育成するため、全国通訳案内士等を対象に、地域のストーリーや魅力を伝える旅のプランづくりに取り組む実践型研修を実施する。

イ 昨年度のひょうご周遊ガイド育成研修の修了生「ヒトタビHYOGOガイド」が活躍できるよう、観光ベンチャー等と連携しマッチングシステムを構築する。

② **〔新〕観光業の再生・活性化に向けた産学官連携事業（2,000千円）**

令和3年4月に開学する芸術文化観光専門職大学（豊岡市）と連携し、観光事業者向けセミナーや観光業界を目指す若者向けセミナーを開催する。

③ **観光産業の人材確保・育成（3,200千円）**

ア ポスト・コロナにおける観光産業の中核人材を育成するため、観光振興に関心のある大学生向けにDMO等が実施する観光事業の体験、専門講師によるセミナー等を実施する。

イ 次世代の観光産業を担うグローバル人材を育成するため、全国の高校生を対象とした観光コンテスト・観光甲子園に協賛する。

ウ 観光学科・コース等のある大学と連携したインターンシップに取り組む。

④ **観光地におけるホスピタリティの向上（530千円）**

ア 観光ボランティアガイドのレベルアップを図るため、市町観光協会との連携により研修会を開催する。

イ 地域のおもてなしを担う人材の接客スキルや意識の向上を図るため、観光関係団体が開催する接客研修に講師を派遣する。

(3) **安心安全を届ける受入基盤整備**

① **「ひょうご安心旅」の推進〈令和2年度繰越事業〉（6,397千円）**

ウィズ・コロナ期の旅の安心安全な旅行をプロモーションするため、県内宿泊施設や貸切バス、旅客船が取り組む感染リスク軽減対策を業界団体（兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合、兵庫県バス協会、神戸旅客船協会）とともに、旅行者向けに見える化し、「ひょうご安心旅」として発信する。

② **ユニバーサルツーリズムの推進（1,441千円）**

高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが安心して旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムを推進する。

- ・ユニバーサルツーリズムマップの作成
- ・地域ネットワークの構築を支援するフォローアップ研修の実施
- ・観光施設のバリアフリー情報等を掲載する特設サイトの運営

2 **観光地アクセスの整備**

観光地へのアクセス拠点としての観光案内所を運営し、着地の観光・物産情報を発信する。

(1) **観光案内所の運営（9,933千円）**

ア 国内外からの観光客に着地情報を発信するため、JNTOの外国人観光案内所の認定を取得した「INFORMATIONひょうご・関西」（伊丹空港）を運営する。

- ・相談員による観光情報提供・案内
- ・デジタルサイネージ、タブレット端末、VR動画装置の設置
- ・ひょうご特産品の展示・自動販売機の設置

イ 市町が設置する観光案内所において、県内の広域観光情報の提供を促す。

Ⅲ 観光産業の振興

1 観光ビジネスの創出・育成

観光ビジネスにおけるイノベーションの創出や事業者と連携したニューツーリズムの育成に取り組む。

(1) 観光ビジネスのイノベーションプラットフォームの推進 (1,000千円)

㈱みなと銀行と連携し、新たな観光ビジネスを生み出すプラットフォーム「Sail4 (自治体観光セクション・DMO、民間観光関連企業・団体、クリエイター、大学・教育機関の4分野の関係者)」の枠組みを活用し、新たな観光ビジネスの創出に向けたビジネスセミナーを開催する。

(2) 事業者とともに取り組むニューツーリズムの創出

① [新] 鉄道事業者と連携した観光キャンペーンの展開 (10,000千円)

大阪・関西万博を見据え、大阪・京都に集中する国内外観光客を兵庫まで拡大するため、JR 西日本と連携したツアー造成、プロモーション等を展開する。

- ・プロジェクトチームの設置、JR西日本と連携したツアー造成
- ・共同プロモーションの実施

② [新] ゴルフツーリズムの商品販売促進 (8,000千円)

質・量ともに国内有数のゴルフ場集積を活かし、県内各地のゴルフ場と観光コンテンツを組み合わせたゴルフツーリズムの商品販売を促進する。

- ・2022年5月にワールドマスターズゲームズ関西のゴルフ競技が開催される徳島県と連携し、海外のゴルフツーリズム専門会社を対象としたファムトリップを実施
- ・2021年10月に英国・ウェールズで開催される商談会の日本ブースへの出展
- ・ゴルフツーリズム商品を紹介するWEBサイトの構築

③ [新] サイクルツーリズムの造成・促進 (2,992千円【再掲】)

e-BIKEを活用し、SDGs 関心層への訴求も視野に、里山・宿場町・棚田・海岸線等の日本的風景や、地域の文化・産業・食を体験しながら観光地を巡るサイクルツーリズムを推進する。

④ [新] 地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携の促進 (国事業)

航空会社と連携し、観光に加え、県内各地の農業・漁業・地場産業など地域課題の解決に向けた取組を体験するツアー造成・販売を通じて、全国からの交流人口、関係人口を拡大する。

⑤ 産業観光施設の登録推進

歴史的価値のある工場遺構、地場産業や先端技術を備えた工場づくりの現場、科学技術施設等を巡る産業観光を推進するため、産業観光施設やモデルルートを登録、WEBサイトで紹介する。

(3) 観光土産品の審査・推奨 (1,250千円)

兵庫県指定観光名産品協会と連携し、観光土産品公正競争規約に基づく審査を実施し、基準を満たす土産品を推奨することにより、質の高い観光土産品をPRする。

IV プロモーションの強化

1 戦略的・継続的なプロモーションの実施

インバウンドの本格回復が見込めない中、当面は国内旅行を重視したプロモーションを展開する。インバウンドについては、市場優先度、兵庫県優位度、市場回復度合いを鑑み、重点市場から効果的なプロモーションを展開する。

(1) 日本人旅行者向けプロモーション

① 認知度向上とブランド化の推進

ア 兵庫観光の魅力発信（45,000千円）

国内旅行者向けに兵庫の魅力を発信する。

- ・ガイドブック・ポスター、雑誌、WEB・SNS、FMラジオ等を活用したメディアミックスプロモーション
- ・旅行社と連携した旅行商品の造成
- ・メディア取材や旅行エージェントとの商談
 - a ツーリズムEXPO2021商談会（11月25日～28日）
 - b 近畿6府県首都圏観光情報交換会（6月・10月・2月）
- ・国内のメディア、旅行エージェントを対象とした招へいツアー「地域プレゼンテーション」の実施

イ NHKラジオ番組での観光PR

NHKラジオ第1「マイあさ！関西」の中の「関西おでかけ情報」のコーナーで、旬の県内観光情報をPRする。

② 旅行商品・ツアー造成の促進

ア ひょうごツーリズムバスの実施（42,051千円）

兵庫の魅力をPR等するため、バス借上料の一部を補助する。

区分	台数	補助額
淡路花博花みどりフェア	300台	[県内宿泊]20人以上：30,000円 10～19人：15,000円 [日帰り] 20人以上：15,000円 10～19人：7,500円
兵庫遺産周遊分	200台	
山陰海岸ジオパーク周遊分	400台	
六甲山周遊分	50台	
海外分	400台	
その他	450台	
合計	1,800台	

③ リピーターにつなげる旅アトフォロー

ア 観光WEBサイトの充実強化（8,000千円）

観光客ニーズの的確な把握、ニーズに沿った情報発信を行うため、双方向情報発信可能で利便性の高い機能を有する情報プラットフォームを運営する。

イ 県内主要観光地・宿泊地魅力度調査（1,500千円）

旅行者の動機や周遊ルート、消費額等のデータを収集し、地域ごとの観光客の属性等の傾向を把握するため、県内の主要8地域の観光施設及び宿泊施設においてQRコードを活用した現地調査を実施する。

- ・8地域ごとの分析レポートを四半期単位で作成し公開

(2) 訪日外国人旅行者向けプロモーション

① 認知度向上とブランド化の推進

ア [新] JNTO を活用したインバウンド発信力の強化 (3,000千円)

ひょうご観光本部の多言語観光サイト「Another Hyogo」リニューアルに向け、JNTO の知見を活かしたコンサルティングを実施する。

- ・ JNTOのHPにおける兵庫観光の特設ページの開設
- ・ アクセス検証結果を踏まえた「Another Hyogo」改善の検討

イ [新] インバウンド再開に向けた情報発信事業 (4,920千円)

日本旅行の検討時によく利用されるJNTOの「JAPAN Monthly Web Magazine」を通じ、欧米豪・アジアに広く観光情報を発信する。

- ・ 外国人目線による記事制作・発信（英語、中国語、韓国語）

ウ 中国向けオンラインプロモーション事業 (6,180千円)

国別訪問者数が最大の中国市場に対して、「WeChat」「Weibo」のアクティブなフォロワーの増加を図るため、オンラインプロモーションを実施する。

- ・ 取材によるオリジナル記事の制作・配信
- ・ バナー広告を活用したPR、プレゼント抽選キャンペーン

エ ひょうご国際観光デスクの設置 (1,500千円)

東アジア等のリピーター市場において、本県ゆかりの旅行エージェント等のネットワーク・ノウハウを活用した観光デスクを香港、韓国、台湾、タイに設置する。

- ・ 現地メディアへのPR、SNS等による情報発信
- ・ 現地旅行博覧会等への出展プロモーション
- ・ 旅行商品の造成促進・販売支援

オ ツーリスト・インフォメーション・デスクの運営 (12,446千円)

海外市場への観光プロモーションを行う専門員を配置し、外国語（英語、仏語、中国語、韓国語）による相談対応、海外メディア等による県内招聘取材のアテンド等を実施する。

② 旅行商品・ツアー造成の促進

ア ビジットHyogo連携促進事業(兵庫県外客誘致促進委員会事業)(2,000千円)

国、近隣府県と連携しながら、様々なテーマ設定により、インバウンド向けに広域周遊ルートをPRする。

連携先	対象国	内容
国、岡山県	タイ	地域の観光資源とJRを活用した瀬戸内の新たな広域周遊ルートの造成
国、徳島県、鳥取県	豪州	ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けたPR

イ 重点市場の開拓(兵庫県外客誘致促進委員会事業)(4,900千円)

市場優先度、兵庫県優位度、市場回復度合いを踏まえ、当面はWEBでの継続的な情報発信を行いながら、比較的市場の回復が早いと予想される台湾、香港などを中心に効果的なプロモーションを展開する。

(7) 商談会・プロモーション

事業名	日 程	場 所
日中韓観光大臣会合エクスカージョン	未定	県内
台湾大商談会	秋頃	台湾
JGTM（日本ゴルフトラベルマート）	11月	神戸
海南省友好提携30周年記念事業	秋頃	中国
西オーストラリア州姉妹提携40周年記念事業	未定	豪州
関西連携海外観光プロモーション	未定	未定
AGTC(アジア・ゴルフ・ツーリズム・コンベンション)	3月	宮崎

(イ) ファムトリップ

事業名	国・地域	対象者
(一財)関西観光本部と連携した招聘事業	未定	旅行社・メディア
(一社)せとうち観光推進機構と連携した招聘事業	未定	旅行社・メディア
岡山県連携ビジットHyogo 連携事業 [再掲]	タイ	旅行社・メディア
徳島県・鳥取県連携ビジットHyogo 連携事業 [再掲]	豪州	メディア

③ 魅力ある旅ナカ情報の提供

ア 外国人県民による兵庫の魅力発信（1,400千円）

インバウンド再開に備え、外国人県民(JET、留学生、外資系企業社員等)が、生活者の視点から兵庫の魅力を各自の言語圏へSNS等で発信する。

2 広域ゲートウェイへのアプローチ

兵庫への多様な広域ゲートウェイに着目し、国際線就航空港・港湾からの誘客促進に加え、広域連携による周遊ルートの形成や国内他地域との相互誘客を推進する。

(1) 広域連携による周遊ルートの形成

① DMOとの連携の推進（1,000千円）

広域連携DMOや地域連携DMOと連携し、関西圏、瀬戸内圏、日本海圏、中四国圏との広域周遊ルートを形成する。

ア 神戸淡路鳴門地域等周遊観光ワークショップへの参画

イ 関西観光本部「THE EXCITING KANSAI」キャンペーンへの参画

(2) 国内他地域との相互誘客の推進

① ローカルエアーで結ぶ地方観光のネットワーク化（5,400千円）

ローカルtoローカルの国内市場を活性化するため、神戸・伊丹・但馬空港の国内線就航先のDMO等との相互送客ネットワークを構築する。

- ・国内線就航地と連携したツアー商品造成・相互送客プロモーション
- ・就航地連携キックオフサミットの開催

② 広域観光振興事業への参画（3,770千円）

ア 日本観光振興協会関西支部に参画し、関西府県の連携による観光プロモーションを実施する。

イ 北近畿広域観光連盟に参画し、但馬・丹波地域と京都府北西部の関係機関、交通事業者等と連携した観光プロモーションを実施する。

③ 隣接県連携バス助成 (3,295千円)

兵庫県と隣接県（岡山県・鳥取県・徳島県）を周遊するバス借上げ費用の一部補助により、団体旅行の造成を促進する。

人数	区分	宿泊地	補助額	台数
20名以上	宿泊	兵庫県・隣接県	60,000円	150台
		兵庫県	45,000円	
		隣接県	45,000円	
	日帰り	—	30,000円	
10～19名	宿泊	兵庫県・隣接県	30,000円	
		兵庫県	22,500円	
		隣接県	22,500円	
	日帰り	—	15,000円	

